前坊守の通夜葬儀にはお参り頂きありがとうございました。大勢の御門徒の皆様と共に見送ることができ、うれしかったです。善きにつけ悪しきにつけ存在の大きかった義母でした。私にとってはお念仏を発起させて下さる大きな御縁となって下さいました。形が消えても存在が無くなることはありません。さて、７月は新年度が始まります。残念なことに、会員数が大幅に減りました。お寺離れが長仁寺にも進んでいるようです。しかし心配には及びません。心配になれば心配すればいいし、心配しなくてはならないわけではありません。出来るところでさせて頂けばよいのです。こういう自由な心にならせて頂けるのがお念仏のありがたさです。お念仏の中にすべての問題は解決されてあるのですね。楽な世界です。もっともっとみな様にお念仏のすばらしさをお伝えしなくては申し訳無いと思わせられました。なむあみだぶつ　なむあみだぶつ　　合掌

地獄とは　楽を求めて　苦しむ世界

極楽とは　苦を転じて　楽しむ世界

　　　　　浅田正作著　「続　骨道をいく」から

　　**【令和元年度　婦人会法要・総会】**

時：令和元年　７　月　１３　日（土）　**午後１時から**

　　　（持ってくるもの：　念珠・お経本・肩衣）